

「科学・技術政策上の当面の重要課題」
についてのコメント

本日の総合科学技術会議の議題(2)「科学・技術政策上の当面の重要課題」に関し、今後のアクションプランの策定等の議論を深めるために、以下のとおりコメントします。

グリーン・イノベーションとライフ・イノベーションは、我が国の今後の持続的な成長の鍵であり、本重要課題の中でこれらを強力に推進していくこととされているのは、大変心強いものです。

さらに、本重要課題にあるとおり、グリーン・イノベーションの中でも、低炭素社会の実現は最も重要なことであると考えます。

これに加え、温暖化対策と環境汚染対策を組み合わせたコベネフィット技術など、更なる環境技術の磨き上げや海外への技術移転についても我が国の成長につながる重要な視点ではないかと考えます。

また、本年10月には名古屋で生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が開催されますが、今後の生物多様性に係る先導的な取組を進めていくことも重要だと思えます。

ライフ・イノベーションについても、本重要課題で挙げられている内容はいずれも重要と考えます。この中にある「子どもの生育環境の整備」に関し、「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」を推進し、子どもの健康に影響を与える環境要因をしっかりと調査して参りたいと考えているところです。

平成22年3月9日
環境大臣 小沢鋭仁